

1. 組織名

一般社団法人全国木材組合連合会

2. 提出意見①

該当する交渉分野

物品市場アクセス

意見

我が国の輸入材関税については、1960年代から大きく引下げが続けられ、今では合板、集成材及び一部製材品等の品目に限られている現状にある。その影響を受けて、輸入材、特に製材品輸入が大きく拡大し国内材の自給率は一時2割を下回るまでに低下した。そして、国産材価格は下落・低迷し、我が国の林業・木材産業は深刻な状況に陥っている。TPP参加国からは多くの木材が輸入されており、関税撤廃等の措置が行われれば輸入材の拡大に拍車をかけ、林業・木材産業の衰退、山村地域の疲弊が進むのみならず、森林整備や木材利用による地球温暖化対策、森林の国土保全等多面的機能の発揮に多大な支障をもたらすことになる。

このため、国内の温暖化対策や木材自給率向上のためにも森林整備が十全に発揮されるよう、合板、製材等の関税に最大限の配慮をお願いしたい。

【参考】TPP交渉における交渉分野

物品市場 アクセス	原産地規則	貿易円滑化	SPS(衛生植 物検疫)	TBT(貿易の 技術的障壁)	貿易救済	政府調達
知的財産	競争政策	越境サー ビス	商用関係者 の移動	金融サー ビス	電気通信 サービス	電子商取引
投資	環境	労働	制度的事項 (法律的事項)	紛争解決	協力	分野横断的 事項